

特別展 THE BODY 人 体

Challenging the Mystery 神秘への挑戦

会場：国立科学博物館

会期：2018年3月13日(火)～6月17日(日)

主催：国立科学博物館、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社

- ・1-9「キンストレーキ(女性)」の展示は～5月17日(木)まで、1-12「CTでとらえた大動脈、肺、心臓、脊椎」の展示は～5月6日(日)まで、1-13「CTでとらえた頭頸部、脳」の展示は5月8日(火)～6月17日(日)までの期間限定です。
- ・本リストのNo. (1-1～3-14)は会場内キャプションおよび図録のNo.と対応していますが、展示順は異なる場合があります。
- ・展示物の保護等のために展示内容が変更となる場合があります。
- ・指定された場所以外での写真撮影は禁止です。

※一部のエリアで、私たちの臓器の構造や機能を正しく知っていただくために、ヒトの臓器標本を展示しています(本リストのNo. a～j)。なお、展示にあたりましては、ご希望の方のみご観覧いただけるよう配慮しております。ご希望されない方のご観覧は、ご自身の判断によりお控えください。

No.	作者名	名称	年代	所蔵
-----	-----	----	----	----

第1章 人体理解へのプロローグ

No.	作者名	名称	年代	所蔵
		「解剖手稿」より		
1-1	レオナルド・ダ・ヴィンチ	(表)腕神経叢 (裏)腕に見られる神経部分	1508年頃	ウインザー城王室コレクション
1-2	アンドレアス・ヴェサリウス	『ファブリカ』	1543年	広島経済大学
1-3	アンドレアス・ヴェサリウス	『ファブリカ』復刻本	1964年	
1-4	ベルンハルト・ジークフリート・アルビヌス	『人体筋骨格図譜』	1749年	日本歯科大学 医の博物館
1-5	原画：ヨハネス・ヴァウダース	ライデンの解剖劇場	1610年	ブールハーフェ博物館
1-6		頭頸部のワックスモデル	19世紀	日本歯科大学 医の博物館
1-7		女性の頭部、胴体の解剖模型	1850～1900年	ブールハーフェ博物館
1-8	ジュール・タルリッシュ	消化管のワックスモデル	1876年	ブールハーフェ博物館
1-9		キンストレーキ(女性)	19世紀	福井市立郷土歴史博物館
1-10		キンストレーキ(男性)	19世紀	金沢大学医学部記念館
1-11	ヴィルヘルム・レントゲン	『ヴェルツブルク物理医学会報告』中のレントゲン写真	1896年	広島経済大学
1-12		CTでとらえた大動脈、肺、心臓、脊椎		シーメンス・ヘルスケア
1-13		CTでとらえた頭頸部、脳		シーメンス・ヘルスケア
1-14		MRIでとらえた体内		

第2章 現代の人体理解とその歴史

2-1 循環器系と泌尿器系

No.	作者名	名称	年代	所蔵
2-1	レオナルド・ダ・ヴィンチ	「解剖手稿」より右心室と三尖弁	1512～1513年頃	ウインザー城王室コレクション
2-2	ヒエロニムス・ファブリシウス	『解剖学と外科学』	1624年	日本歯科大学 医の博物館
2-3	ウィリアム・ハーヴェイ	『諸動物における心臓と血液の動きに関する解剖学的研究』	1653年(英語版)	東京医科歯科大学
2-4	ヨハン・フランツ・グリーンデル・フォン・アッハ	『新顕微鏡図譜』中の複式顕微鏡図	1687年	ブールハーフェ博物館
2-5		18世紀の複式顕微鏡	1750～1800年頃	ブールハーフェ博物館
2-6		デイヴィニ製作の複式顕微鏡	1668年頃	ロンドン・サイエンス・ミュージアム
2-7	アントニ・ファン・レーウエンフック	レーウエンフックの単式顕微鏡	1673～1723年頃	ブールハーフェ博物館
2-8	アントニ・ファン・レーウエンフック	ウナギ観察装置	1685～1700年	ブールハーフェ博物館
2-9	アントニ・ファン・レーウエンフック	顕微鏡レンズ	1675～1725年	ブールハーフェ博物館
2-10	アントニ・ファン・レーウエンフック	『血液の真の循環』中の魚のヒレの観察	1688年頃	ブールハーフェ博物館
2-11		原索動物の心臓 シロボヤ		国立科学博物館
2-12		魚類の心臓 シーラカンス		アクアマリンふくしま
2-13		両生類の心臓 オオサンショウウオ		国立科学博物館
2-14		爬虫類の心臓 オサガメ		国立科学博物館
2-15		哺乳類の心臓 アジアゾウ		国立科学博物館

No.	作者名	名称	年代	所蔵
2-16		哺乳類の心臓 ハツカネズミ		国立科学博物館
2-17		哺乳類の心臓 キリン		国立科学博物館
2-18		キリンの頸椎と頭骨		国立科学博物館
2-19		トドの腎臓の鋳型標本		麻布大学
2-20		魚類の腎臓 ギンザケ		国立科学博物館
2-21		両生類の腎臓 オオサンショウウオ		国立科学博物館
2-22		爬虫類の腎臓 オサガメ		国立科学博物館
2-23		哺乳類の腎臓 単葉腎 アライグマ		国立科学博物館
2-24		哺乳類の腎臓 不完全多葉腎 キリン		国立科学博物館
2-25		哺乳類の腎臓 完全多葉腎 カズハゴンドウ		国立科学博物館

2-2 神経系

No.	作者名	名称	年代	所蔵
		「解剖手稿」より		
2-26	レオナルド・ダ・ヴィンチ	(表) 頭部断面、脳と眼の結びつき部分 (裏) 頭部の研究	1490-1492年頃	ウインザー城王室コレクション
2-27	スイス、プシ社製	脳の神経線維模型	1893-1910年	ブルーハーフェ博物館
2-28	サンチャゴ・ラモン・イ・カハール	網状説とニューロン説の対比	1923年	カハール研究所
2-29	サンチャゴ・ラモン・イ・カハール	運動神経と知覚神経の経路	1899年	カハール研究所
2-30	サンチャゴ・ラモン・イ・カハール	大脳皮質(前頭回)に向かう視床からの軸索	1899年	カハール研究所
2-31	サンチャゴ・ラモン・イ・カハール	運動性神経細胞における軸索と樹状突起および終末ボタン	1909年	カハール研究所
2-32	サンチャゴ・ラモン・イ・カハール	老人斑の形成過程に関する3つのスケッチ	1918年	カハール研究所
2-33	サンチャゴ・ラモン・イ・カハール	交感神経節における三細胞性糸球体	1911年	カハール研究所
2-34	サンチャゴ・ラモン・イ・カハール	脳の切片(プレパラート)a: 鳥類の延髄 脳の切片(プレパラート)b: ネコ(8日齢)の間脳 脳の切片(プレパラート)c: 麻痺患者の小神経膠細胞 脳の切片(プレパラート)d: マウス(15日齢)の間脳から小脳の部分	1890年代	カハール研究所
2-35	エルンスト・ライツ社製	カハールの顕微鏡	1890年代	カハール研究所
2-36	エルンスト・ライツ社製	カハールの顕微鏡	20世紀初頭	カハール研究所
2-37	カール・ライヘルト社製	カハールのマイクローム	1890年代	カハール研究所
2-38	ザルトリウス社製	カハールのマイクロームの刃	1890年代	カハール研究所
2-39	ザルトリウス社製	カハールのマイクロームの刃	20世紀初頭	カハール研究所
2-40	布施現之助	『顕微鏡的人脳図譜』手描原図	1913年頃	東北大学史料館
2-41	布施現之助、 コンスタンチン・フォン・モナコウ	『顕微鏡的人脳図譜』(刊行物)	1916年	東北大学史料館
2-42	万年 甫	ネコ脳ゴルジ染色切片	1978年	万年 泰氏
2-43	万年 甫	ゴルジ染色による神経細胞突起拡大模型	1973年頃	万年 泰氏
2-44	万年 甫	『猫脳ゴルジ染色図譜』手描図譜原図	1980年頃	国立科学博物館
2-45	万年 甫	『猫脳ゴルジ染色図譜』(刊行物)	1988年発行	国立科学博物館
2-46		ゴリラ上肢の神経(神経束展開標本)		国立科学博物館
2-47		感覚野のホムンクルス ペンフィールドの「体部位再現図」をもとに製作	2018年	国立科学博物館
2-48		運動野のホムンクルス ペンフィールドの「体部位再現図」をもとに製作	2018年	国立科学博物館
2-49		魚類の脳 ウバザメ		東京大学総合研究博物館
2-50		両生類の脳 オオサンショウウオ		国立科学博物館
2-51		爬虫類の脳 アオウミガメ		国立科学博物館
2-52		哺乳類の脳 ラット		東京大学総合研究博物館
2-53		哺乳類の脳 アジアゾウ		東京大学総合研究博物館
2-54		哺乳類の脳 マッコウクジラ		東京大学総合研究博物館
2-55		ニホンザルの頭骨		国立科学博物館

No.	作者名	名称	年代	所蔵
2-56		ニホンザルの脳		東京大学総合研究博物館
2-57		チンパンジーの頭骨		国立科学博物館
2-58		チンパンジーの脳		東京大学総合研究博物館
2-59		ゴリラの頭骨		国立科学博物館
2-60		ゴリラの脳		東京大学総合研究博物館
2-61		「脳の発生(ヒト)」	京都大学大学院医学研究科 附属先天異常標本解析センター 京都大学 学術情報メディアセンター	
2-62		アウストラロピテクス・アフリカヌス(猿人)の頭骨(レプリカ)	更新世(約250万年前)	国立科学博物館
2-63		アウストラロピテクス・アフリカヌス(猿人)の頭蓋腔鋳型標本		国立科学博物館
2-64		ホモ・エレクトゥス(ジャワ原人)の頭骨(レプリカ)	更新世(約80万年前)	国立科学博物館
2-65		ホモ・エレクトゥス(ジャワ原人)の頭蓋腔鋳型標本		国立科学博物館
2-66		ホモ・ネアンデルターレンシス(旧人)の頭骨(レプリカ)	更新世(約6万年前)	国立科学博物館
2-67		ホモ・ネアンデルターレンシス(旧人)の頭蓋腔鋳型標本		国立科学博物館 (データ提供: 慶應義塾大学・東京大学)
2-68		ホモ・サピエンス(新人)の頭骨		国立科学博物館
2-69		ホモ・サピエンス(新人)の頭蓋腔鋳型標本		国立科学博物館
2-70		アインシュタインの脳切片	1955年以降	新潟大学脳研究所

2-3 消化器系と呼吸器系

2-71	レオナルド・ダ・ヴィンチ	「解剖手稿」より (表) 消化管と腎臓、そして尿管部分 (裏) 消化管	1508年頃	ウインザー城王室コレクション
2-72		マントヒヒの肝臓の血管鋳型標本		麻布大学
2-73		ハンドウイルカの膵臓と脾臓		国立科学博物館
2-74		カピバラの消化管		国立科学博物館
2-75		キリンの肝臓		国立科学博物館
2-76		キリンの胃		国立科学博物館
2-77		インイルカの肺の鋳型標本		麻布大学
2-78		ハンドウイルカの肺と心臓		国立科学博物館

2-4 運動器系

2-79		ヒトの骨格標本(男性)		国立科学博物館
2-80		ヒトの骨格標本(女性)		国立科学博物館
2-81		グレビーシマウマ左前肢の筋骨格乾燥標本		東京大学総合研究博物館
2-82		さまざまな動物の前肢		国立科学博物館
2-83		ヒトの大腿骨断面		国立科学博物館
2-84		ダチョウの大腿骨断面		国立科学博物館

2-5 人体の発生と成長

2-85	オズボーン・オーヴァートン・ハード	カーネギー発生段階とカーネギー標本(ステージ5)	1920-1950年	国立健康医学博物館、米国
2-86	オズボーン・オーヴァートン・ハード	カーネギー発生段階とカーネギー標本(ステージ8)	1920-1950年	国立健康医学博物館、米国
2-87	オズボーン・オーヴァートン・ハード	カーネギー発生段階とカーネギー標本(ステージ8)	1920-1950年	国立健康医学博物館、米国
2-88	オズボーン・オーヴァートン・ハード	カーネギー発生段階とカーネギー標本(ステージ9)	1931年	国立健康医学博物館、米国
2-89	オズボーン・オーヴァートン・ハード	カーネギー発生段階とカーネギー標本(ステージ10)	1923年	国立健康医学博物館、米国
2-90	オズボーン・オーヴァートン・ハード	カーネギー発生段階とカーネギー標本(ステージ12)	1920-1950年	国立健康医学博物館、米国
2-91	オズボーン・オーヴァートン・ハード	カーネギー発生段階とカーネギー標本(ステージ13)	1920-1950年	国立健康医学博物館、米国
2-92	オズボーン・オーヴァートン・ハード	カーネギー発生段階とカーネギー標本(ステージ16)	1917年	国立健康医学博物館、米国
2-93	オズボーン・オーヴァートン・ハード	カーネギー発生段階とカーネギー標本(ステージ16)	1917年	国立健康医学博物館、米国
2-94	オズボーン・オーヴァートン・ハード	カーネギー発生段階とカーネギー標本(ステージ17)	1917年	国立健康医学博物館、米国

No.	作者名	名称	年代	所蔵
2-95	オズボーン・オーヴァートン・ハード	カーネギー発生段階とカーネギー標本(ステージ19)	1918年	国立健康医学博物館、米国
2-96	オズボーン・オーヴァートン・ハード	カーネギー発生段階とカーネギー標本(ステージ23)	1921年	国立健康医学博物館、米国
2-97		「ヒトの初期発生」	京都大学大学院医学研究科 附属先天異常標本解析センター 京都大学 学術情報メディアセンター	
2-98		出生前後の全身骨格	江戸時代(池之端七軒町遺跡出土)	国立科学博物館
2-99		1歳前後の全身骨格	江戸時代(池之端七軒町遺跡出土)	国立科学博物館
2-100		3歳前後の全身骨格	江戸時代(池之端七軒町遺跡出土)	国立科学博物館
2-101		4歳前後の全身骨格	江戸時代(池之端七軒町遺跡出土)	国立科学博物館
2-102		5歳前後の全身骨格	江戸時代(池之端七軒町遺跡出土)	国立科学博物館
2-103		6歳前後の全身骨格	江戸時代(池之端七軒町遺跡出土)	国立科学博物館
2-104		10歳前後の全身骨格	江戸時代(池之端七軒町遺跡出土)	国立科学博物館
2-105		15歳前後の全身骨格	江戸時代(池之端七軒町遺跡出土)	国立科学博物館
2-106		手の骨の成長(男性)		国立科学博物館
2-107		手の骨の成長(女性)		国立科学博物館

第3章 人体理解の将来へ向けて

3-1	縄文人頭骨	縄文時代(岩手県宮野貝塚遺跡出土)	国立科学博物館
3-2	チンパンジーの頭骨		国立科学博物館
3-3	復顔のためのゲノム解析を行った船泊23号人骨	縄文時代(北海道船泊遺跡出土)	札幌医科大学
3-4	船泊23号の復顔像		国立科学博物館
3-5	ライオン(レオボン母)		国立科学博物館
3-6	ヒョウ(レオボン父)		国立科学博物館
3-7	レオボン		国立科学博物館
3-8	レオボン		国立科学博物館
3-9	ニホンザル		国立科学博物館
3-10	ゴールドンライオンタマリン		国立科学博物館
3-11	ハツカネズミ		国立科学博物館
3-12	カナダオオヤマネコ		国立科学博物館
3-13	スナイロワラビー		国立科学博物館
3-14	カモノハシ		国立科学博物館

a	ヒトの心臓	日本歯科大学
b	ヒトの腎臓	日本歯科大学
c	ヒトの脳	日本歯科大学
d	ヒトの脳(前頭断)	川崎医科大学現代医学教育博物館
e	ヒトの脳(水平断)	川崎医科大学現代医学教育博物館
f	ヒトの大腸	川崎医科大学現代医学教育博物館
g	ヒトの小腸	川崎医科大学現代医学教育博物館
h	ヒトの腸	川崎医科大学現代医学教育博物館
i	ヒトの胃・肝臓・胆嚢・膵臓・脾臓・十二指腸	日本歯科大学
j	ヒトの肺と心臓	日本歯科大学